



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指導訓練室は十分な広さがある。個々の空間スペースを確保できているようにしている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		基準を満たした職員配置を実施。活動内容によってはプラスをして補強を行っている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		玄関入りロスロープ設置。屋内はフラット。多目的トイレ設置。各ルーム内入り口は段差なし。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日清掃を行い清潔な環境に気を付けている。利用児の発達特性と活動内容を考慮して自由に動ける空間を設定し支援を行っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日ミーティングを実施。毎回の支援内容を支援計画重視した視点で共有、確認を行う。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		実施を行い職員間での意識改善につなげる。支援計画面談、個別面談等で直接聞く機会を設けている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		平成31年度に続き今回2度目の公開。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今後取り組んでいく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		県や外部の研修以外に、内部研修も随時実施。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者面談を実施し聞き取り、アセスメントシート作成を行い計画の作成に役立てている ニーズや課題を職員間の共通理解をさらに深めるよう努力する。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		利用者様全員に同一のアセスメントシートの記入をお願いしている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援管理責任者を中心として児童発達支援ガイドラインに示してある項目を確認しながら実施している。 ガイドラインの内容を職員間でも理解し、支援の狙いを共通認識する。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		利用児一人ひとりの児童発達支援計画に基づき、職員、保護者様で共通理解を図り支援を行っている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		スタッフミーティング実施時、個別、集団プログラムを立案。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		屋外学習等、子どもの課題、保護者の意向を踏まえながら計画している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		児童の発達段階に応じたプログラムを設計し支援計画に反映している。 全体の活動の中に組み込みも実施。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日のミーティング時に利用者様情報の共有を行う 紙ベースや口頭等。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援の振り返りと共にヒヤリハット事例も共有し改善につなげていく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		活動記録のみではなく個別ファイルにて状況記録をしている。 支援の状況をその日のうちに記録をし次回の支援に役立てる。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的なモニタリングを実施。 変更等ある際には随時見直しを行う。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○	児童発達支援管理責任者が出席し情報の共有を図る。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	支援センターとの連携は行っているが今後は様々なネットワーク会議への参加を検討する。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		現時点で医療的ケアを要する児童の利用は無い。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		現時点で医療的ケアを要する児童の利用は無い。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	移行先や保護者様の要望に応じて情報提供を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	今後移行等の状況が発生する場合は、保護者様と相談の上、それまでの支援内容等を情報共有する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	適宜、専門機関と連携をしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	保育園と併設の為機会があれば交流を図っている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	今後積極的に参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	お迎えの際に子どもの状況や課題について話をする時間を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間を設けている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	現段階では行っていない。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に管理者が読み合わせ、説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	半年を目安に定期的にモニタリングを行い支援内容を説明し同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	些細な事でも職員全体で検討・対応できるようにしていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	機会を増やすよう努力する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	希望に応じて相談体制を整えている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	ホームページ、ブログを活用し情報発信を行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	保管場所等十分注意をし管理している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	絵カードなどの情報ツールを使用している。常に配慮するよう心掛けている。その日の内容をホワイトボードに記載し表示する等
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	今後は交流の機会を多く持つようにする。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	マニュアルを策定し職員へ周知しているが保護者様に対しては十分に周知できていない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	定期的に避難訓練を実施している。 今後もより積極的に非常災害の訓練を行う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	保護者様とのアセスメントを実施し子どもの状況を確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギーがあれば活動には取り入れないようにしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	毎日記録し共有資料としている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	県主催の研修へ参加し、職員へ周知している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	現時点で支援計画に記載を要する児童の利用はない。